

尾北ソフトボール部 17期生



「3年間でいろんなことがあったけど、ほぼ毎日家族よりも長く一緒にいた仲間に出会えてよかったです。みんなで同じ目標に向かって“日々研鑽”でき、他の高校のソフトボール部では経験できないことをたくさんできたと思います。」

「感謝の気持ちでいっぱいです。同期はもちろん、先輩・後輩を含めてソフト部の活動でかかわってきたみんなが私を成長させてくれたと思います。必死になってソフト部としてがむしゃらにやってきたから生まれるソフト部の温かい雰囲気が好きです。」

「同期8人集まらなかったら、尾北のチームが出来てなかったし、人が集まらなかったらソフト部に入っていなかったかもしれないからみんなに感謝。尾北のソフト部に入って良かったと心の底から思う。」

「チームメイトがいる大切さを感じた。仲間がいるのが鬱陶しいなと感じた時もあったけれど、夏の暑い日の練習や冬のとても寒い日のトレーニングとか仲間と声を出し合ったおかげで辛いときも乗り越えられたんだと改めて感じた。」



☆ソフトボール部で一番うれしかったこと、感動したこと

「県大会でヒットを打つことができたこと。」 「仲間や自分が良いプレーをしたとき。」

「監督に褒められたとき。」 「大会でみんなのおかげで完全試合ができたこと。」

「最後の打席でホームランを打てたこと」

「最後のミーティングで同期をはじめ後輩、先生と一緒に泣けたことです。人から愛されていて、応援されてたんだなって一番実感しました。」

「県大会でタイブレークまで持ち込んで勝ったことです」

「自分の練習成果が試合で発揮できたとき、自分よりも喜んでくれた仲間を見たとき嬉しそうにハイタッチをしてくれたとき、心の底からうれしかった。」

☆日々研鑽してきたこと、3年間で成長できたと思うところ



「ときには厳しいことを言い合わないといけないけれど言われても挫けないところが成長できた。視野が広がった。」

「一人でもソフトボール部としての行動ができるようになった。ソフトボールの向上以外に人としても成長出来た。」

「常に考えることを一番続けました。日頃から小さいことにも疑問を持つようになってきました。それがみんなの技術の向上に役に立ったし、それによって自分の身の回りの小さな変化にも気づき、学力の向上にもつながりました。」

「人間性。技術はもちろん、練習をたくさんし、活躍できるように頑張ってきました。しかし、尾北のソフト部は人間性を大切にしていると思います。この3年間で“人間性”が一番成長できたと思います。」

「今までは自分の限界を自分で決めてしまっていたけど、仲間がいたから常に向上心を持つことができた。些細なことでも毎日続けるという大切さを知り、実行できた。」



「一番日々研鑽してきたことはやはり声です。自分はへたくそな分、声だけは誰よりも出そうと思いのどがかれるほど毎日出していました。そして自分が成長できたと思うところはメンタルです。精神的に毎日きつい練習を仲間と共にして、先生にもたくさん怒られたおかげで自分に強くなれました。」

☆これから入学、入部する後輩に伝えたいこと



「人間的に一番成長できる部活だし、

卒業するときには必ず“尾北ソフトボール部でよかった”と思えるような部活です。」

「楽しいことよりも大変なこと、辛いことの方が多いかもしれませんが、一生の友達ができるし一番青春ができると思います。私はこの部活に入って本当に良かったと思います。」



「尾北高校ソフトボール部は伝統のある部活で、礼儀正しく、練習もしっかりやります。ソフトボールが上手になりたい人、辛くても途中で逃げ出さない人、仲間を大切にできる人、けじめがつけられる人、やる気のある人、そんな人はこのソフトボール部が一番いいと思います！」

「きついと思ってもそこでやめちゃわないでもう1回頑張ってもらいたい！きついとこを超えたら周りとの絆が深まって、ソフト部でたまたま集まっただけだったチームメイトが本当に大事な存在になるから、踏ん張ってほしい！」

「高校3年間部活をすることで一生の仲間と必ず出会うことができるので強い気持ちを持っている人はぜひ入部してほしいです！」

「尾北のソフトボール部は技術だけでなく、礼儀はもちろん精神面や人間性、協調性コミュニケーション力など多くの力を鍛えることができます。ぜひ同期や先輩、先生方と一緒にうれし涙や悔し涙を流してください！」